

笠寺

100th
anniversary



開校100周年記念誌
名古屋市立笠寺小学校

笠寺 100th anniversary

あいさつ	南 区 長	中川 幸治	……	2
	笠寺小学校長	伊藤 悦朗	……	3
	開校100周年実行委員長	浅見 吉郎	……	4
	笠寺小学校PTA会長	中村 元則	……	5
校章・校旗・校訓・どん帳	……………			6
校 歌	……………			7
校 舎	……………			8
星崎城址について	……………			9
100年のあゆみ	……………			10
学校生活のようす	……………			20
児童数の推移	……………			24
歴代の校長	……………			25
歴代のPTA会長	……………			26
学区の歴史	……………			27
現在の学区	……………			31
笠寺学区の名所	……………			32
編集後記	……………			33



笠寺



100th
anniversary



開校100周年記念誌
名古屋市立笠寺小学校



笠寺小学校開校 100 周年を祝って

南区長 中川 幸治

笠寺小学校が明治40年に開校されてから今年で100年。この節目の年を無事迎えられたこと、誠におめでとうございます。

笠寺小学校は明治40年に前年の旧星崎村など3か村の笠寺村への合併、及び6年制義務教育導入に併せ、旧星崎尋常小学校など4校を合併、笠寺村立笠寺尋常小学校として誕生しました。以来、明治・大正・昭和・平成という時代を経て今日に至っておりますが、太平洋戦争や伊勢湾台風など悲惨な経験を乗り越え、数多くの卒業生がそれぞれの時代を担って活躍していただいたことと推察いたします。現在南区には18学区ありますが、その内8学区が笠寺小学校から分離独立した学区で南区のルーツは笠寺学区にあると言えます。南区は笠寺小学校より1年遅く、来年度区制100周年を迎えます。名古屋市は明治41年に4区制を導入しましたが、その時の南区は現在の熱田区と港区の一部の区域でした。現在の区域が南区になったのは大正10年に笠寺村と呼続村が名古屋市に編入された時ですので、まさに笠寺は南区のルーツであり、現在も区役所を始め様々な行政機関が集中し南区の中心をなしております。このように笠寺学区は市内でも有数の大変古い歴史のある地区で、縄文時代の遺跡から日本史を彩る数々の史跡・神社も多く、また、本地まつりや鍛形まつりなど伝統文化も引き継がれております。

現在の笠寺小学校は昭和3年に400年前に築かれた星崎城跡に建設されたもので、歴史と一体となった学校になっております。このような歴史を背景に住民の皆様は温かみのある方が多く、地域活動も大変活発です。

わが国では平成の時代になってから少子高齢化が急速に進展し、また、核家族化が進行しております。今の子どもたちへの期待もこれまでと違い、近い将来、少ない世代で社会全体を支えていくという大変重要な役割を担うことと思います。50年前に作られた笠寺小学校の校歌にあるように「正しき心」「むつまじく」「きたえて強くすこやかに」がまさに求められる時代になったかと思えます。笠寺学区のもっている思いやり、温かみの精神のもと、地域の皆様全体で子どもたちを見守り育てていただければと思います。そして、子どもたちが成長した暁には、この笠寺学区で大いに活躍していただくことを期待しております。

南区制100周年のテーマは「未来への扉を開こう」です。笠寺小学校も開校100周年を機に未来へ向かって新しい歴史を築いていただきたいと思えます。笠寺小学校と笠寺学区の益々の発展と子どもたちの健やかな成長を祈念し、お祝いの挨拶とします。



開校 100 周年にあたって

笠寺小学校長 伊藤 悦朗

1907年（明治40年）笠寺村の4尋常小学校が併合され、笠寺村立笠寺尋常小学校が開校しました。それから幾星霜、年月を重ね、2007年（平成19年）、開校してから100周年という記念の年を迎えました。

今、素晴らしい環境の中で、充実した学校教育が進められますのも、これまで幾多の困難を乗り越えて発展へと導いてこられた、学区の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

一口に100年と言いましても多くの方々の記憶に残る様々な出来事がありました。

明治40年1月1日の開校以来、高等科が設置されるなど順調に発展し、大正10年、名古屋市に編入されました。

大正12年に現在地（本星崎町本城765番地）に新校舎建設が決まり、昭和3年完成しました。運動場西側に厳然とそびえるクスノキやイチョウは、当時植えられた樹木ではないかと推測されます。

昭和19年8月に集団疎開が始まり、続く昭和20年5月には空襲を受け、校舎の大部分が焼失しました。苦難の時代であったと思います。

昭和22年、教育基本法公布にともない、名古屋市立笠寺小学校と改称され、現在に続いています。

この昭和22年には、新設された本城中学校が本校に併設されていました。ご記憶の方もいらっしゃるでしょう。

昭和34年2月には、開校50周年記念式典が実施され、今歌われている校歌も発表されました。ところが、お祝いムードも束の間、この年9月伊勢湾台風の襲来により、再び大きな被害を受けてしまいました。

しかし、それからの復興・発展は皆様よくご存じの通りです。鉄筋校舎の新築や、昭和42年星崎小学校の独立、昭和51年笠東小学校の独立を経て、現在の笠寺小学校となっています。

昭和62年には、開校80周年を記念して校訓碑が建立されました。校訓「強く 正しく むつまじく」は、目指す子ども像として今日においても大切なものとなっています。

昨今、教育基本法の改訂をはじめとして、世の中の変化に対応するための方策が様々な形で取り上げられています。改めるべきところは改めつつも、先人の努力の跡である歴史をきちんと踏まえ、笠寺の良き伝統を受け継いでいく子どもたちを育てたいと切に願っています。

今後も、笠寺学区・小学校のさらなる発展を念じつつ、お世話になった皆様へのごあいさつとさせていただきます。



開校 100 周年を迎えて

開校 100 周年実行委員長 浅見 吉郎

笠寺小学校開校100周年、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

この100年間たゆまず情熱を注いでこられた歴代の校長先生をはじめ、諸先生方、PTAや地域の皆様のご尽力ご苦勞に対し、深く感謝と敬意を表します。

この地域は、粕島貝塚や市場・下新町遺跡、本城町遺跡が示すように古くから人が住む生活のしやすいところでした。

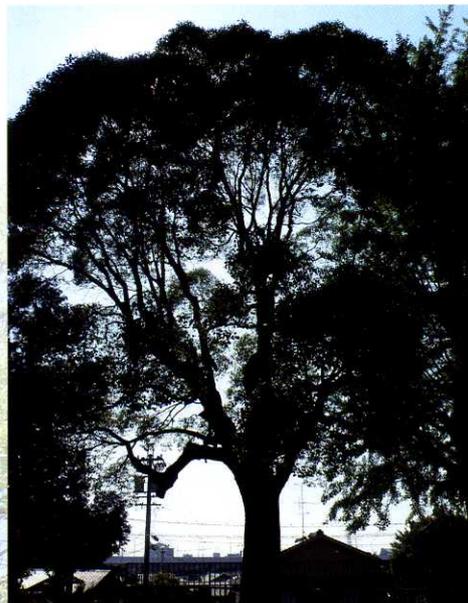
笠寺小学校が開校した頃の明治39年に、笠寺・星崎・鳴尾の三つの村が合併して愛知郡笠寺村が誕生しました。その後、大正10年に、私たちの村は名古屋市に編入されました。

また、昭和に入っすぐ、笠寺西部で区画整

理が始まり、本城中学校の辺りにあった台地を削って西の田んぼを埋め立てました。昭和9年には学区南部の区画整理が始まり、国道一号線や前浜通を始めまっすぐな道路がたくさんでき、現在の学区がほぼ出来上がりました。

その後、太平洋戦争による空襲で校舎の大部分が焼失したり、伊勢湾台風で学区が大きな被害を受けたりしましたが、多くの方々の努力により、現在の住みよい町になりました。

これまでに諸先輩方が築き上げてこられました伝統と実績を礎に、さらなる発展を遂げられますことを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。





さらなる発展を祈念して

笠寺小学校 PTA 会長 中村 元則

笠寺小学校開校100周年、心よりお祝い申し上げます。

名古屋市笠寺国民学校から名古屋市立笠寺小学校と改称された昭和22年に、初代PTA会長が就任されました。PTA会長は、私で26代目になりますが、その間、笠寺小学校の保護者は、学校と一体となってPTA活動を行ってまいりました。

PTA活動の歴史を見てみますと、昭和の時代には、ベルマークを集め、そのお金で学校の備品を購入したり、委員が学校のカーテンを補修したりしました。また、講習会ではカルピス作りをしたという記録も残っています。

そのような活動が、形を変え、現在も役員

を始め校外指導部・広報部・教養部・厚生部の活動として受け継がれています。また、歴代PTA会長は、PTA顧問として学校に関わり、見守っていただいております。

100周年という長い歴史の中で、諸先輩方が築いてこられた伝統を守り、さらに長く輝かしいものにしていくために、PTAとしても、学校、地域の架け橋として努力してまいりたいと思います。どうぞ、引き続き諸先生方、地域の皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

笠寺小学校のさらなる発展を心より祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。



校章・校旗・校訓・どん帳

校旗



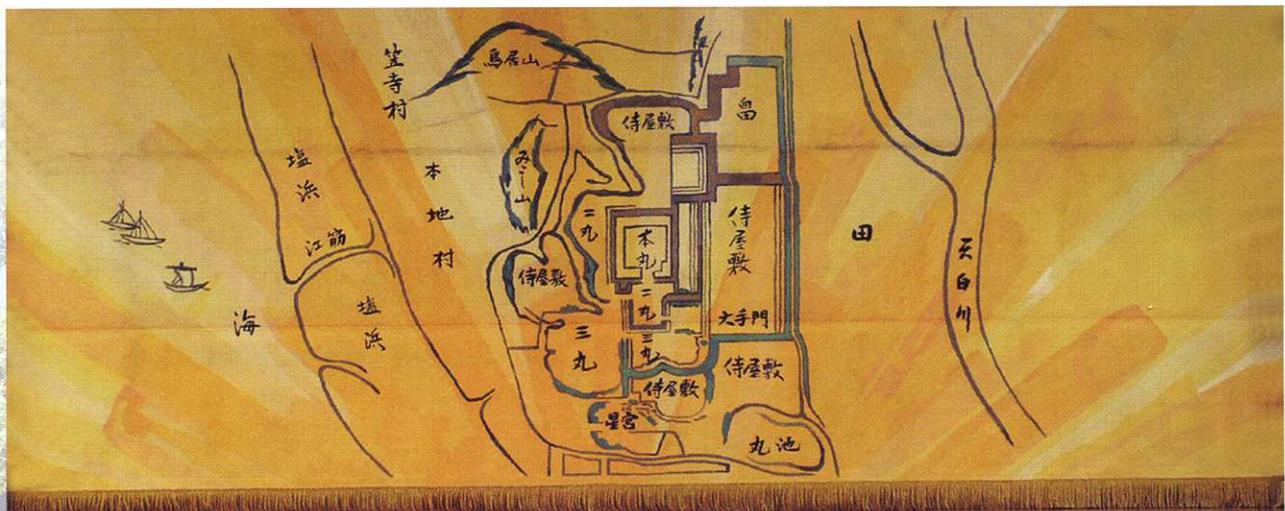
校章



校訓碑



どん帳



校歌

(昭和34年2月制定)

校歌

(山崎敏夫
宅孝二 作詞
作曲)

一、朝日かがやく

国道に

明るくひらく

白き窓

正しきころ

ひとすじに

誓いは新し

笠寺小学校

二、流れも清き

天白を

のぞみて高き

まなびやに

つとめて常に

むつまじく

歴史ははるけし

笠寺小学校

三、星のまたたく

城あとに

かすかにしおは

においくる

きたえて強く

すこやかに

希望はのびゆく

笠寺小学校



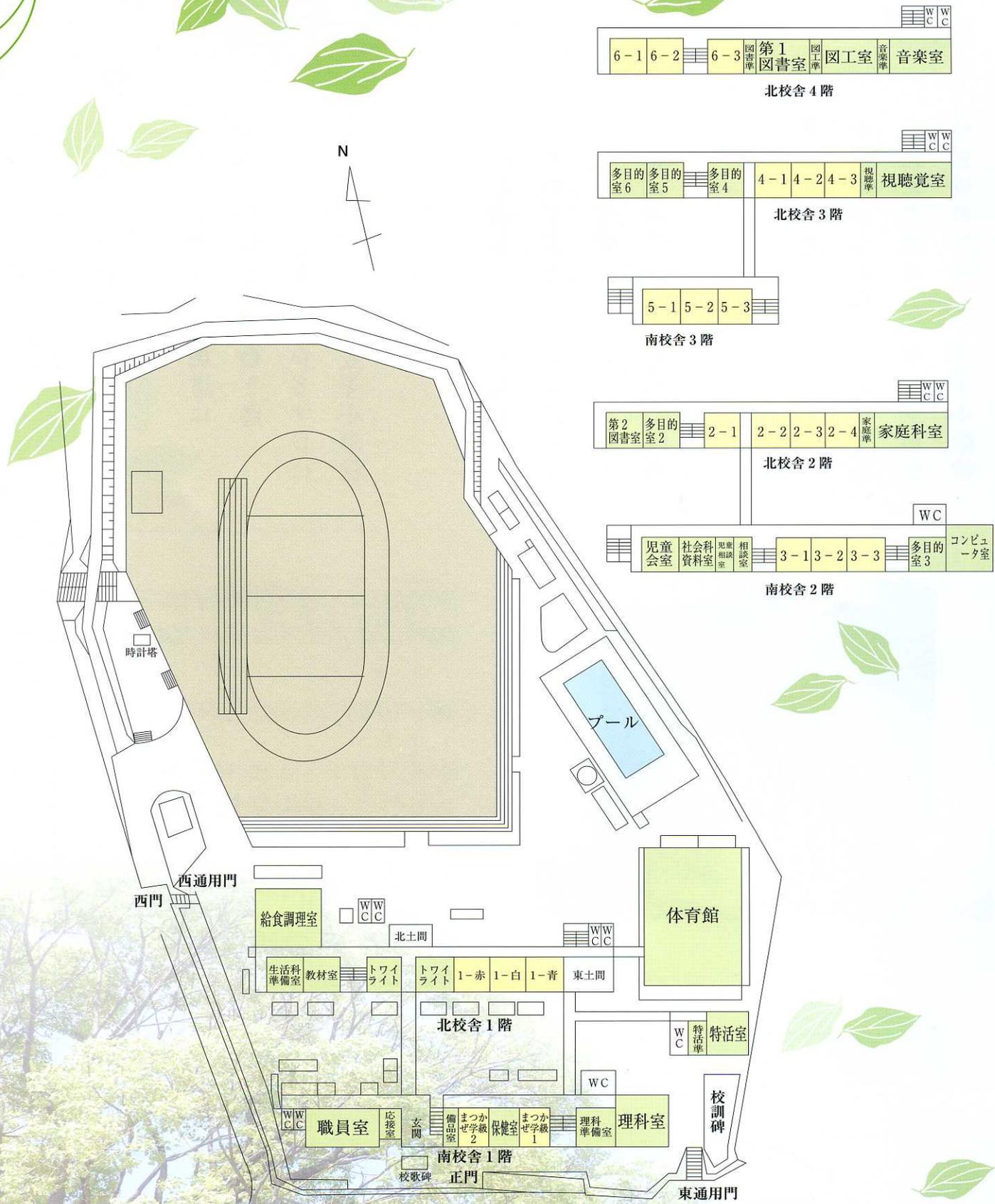
Moderato 明るく元気に

一、朝日かがやく 国道に
明るくひらく 白き窓
正しきころ ひとすじに
誓いは新し 笠寺小学校

二、流れも清き 天白を
のぞみて高き まなびやに
つとめて常に むつまじく
歴史ははるけし 笠寺小学校

三、星のまたたく 城あとに
かすかにしおは においくる
きたえて強く すこやかに
希望はのびゆく 笠寺小学校

校舎



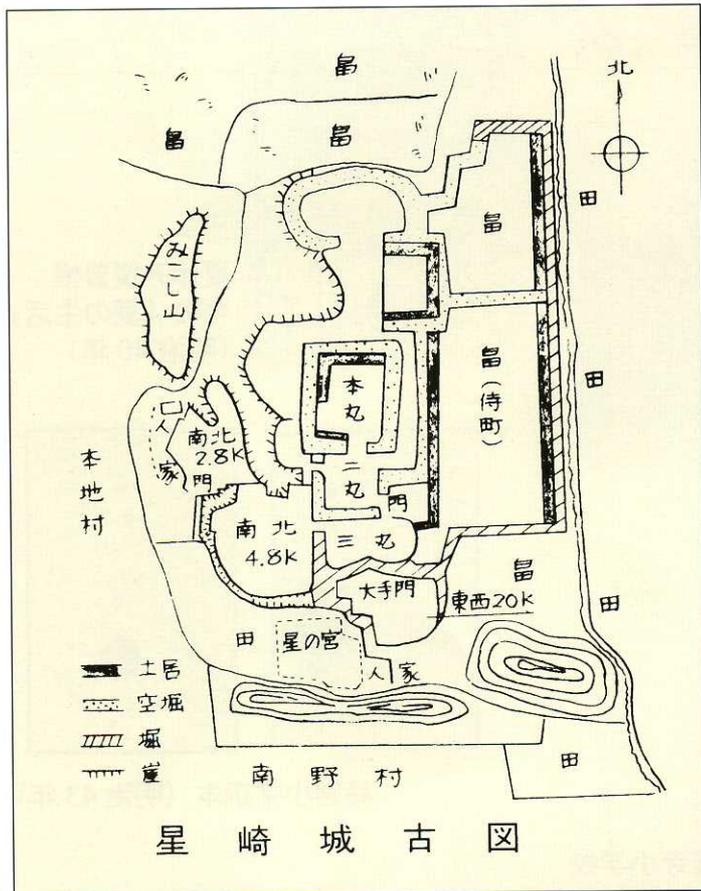
星崎城址について

児童が毎日学んでいる学校の敷地は 400 年程前はお城のあった所です。岡田助衛門直教・同長門守直孝・同伊勢守善同がつぎつぎに城主となり天正 12 年 (1584) 3月から山口半左衛門重勝、ついで同重政が城主となりました。しかし、天正 16 年 (1588) ここから伊勢国茂福に移ったので城はなくなりました。

今でも学校の北側にお堀のあとがあります。



星崎城址に
たてられた
石碑と看板



江戸時代の笠寺付近の地図
(徳川林政史研究所資料)

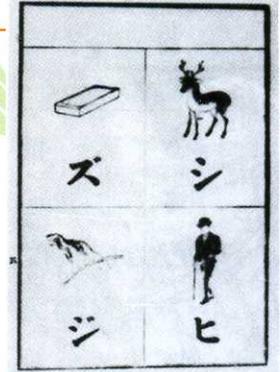


Site of Hoshizaki Castle

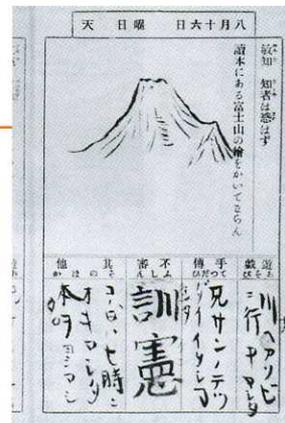
It is not known when this castle was originally built. In the 16th century, after succeeding the Okada family, the Yamaguchi family held the castle for generations until it was abandoned when Yamaguchi Shigemasa moved in 1588.

明治5年～大正6年
創立～開校10周年

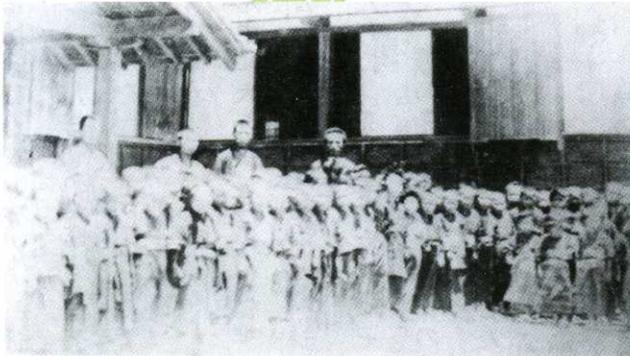
- 明治 5 学制發布
- 9. 5 笠寺の西方院で「松風学校」として創立
- 11 星崎の正覚寺に、「本地学校」開校
- 19 小学校令公布
- 19. 4 大門の宝寿院に「尋常小学前浜学校」開校
- 25.11 大門の宝寿院に「笠寺尋常小学校」開校
大道に「星崎尋常小学校」開校
- 40. 1. 1 笠寺尋常小学校（通学区域 笠寺村大字笠寺）
星崎尋常小学校（通学区域 笠寺村大字星崎，本星崎）
鳴尾尋常小学校（通学区域 笠寺村大字荒井，牛毛，伝馬）
源柴尋常小学校（通学区域 笠寺村大字源兵衛，柴田）
四校を併合 星崎尋常小学校に
「笠寺村立笠寺尋常小学校」開校
- 42.11. 3 新校舎竣工
- 大正 6. 4. 1 高等科設置「笠寺村立笠寺尋常高等小学校」と改称



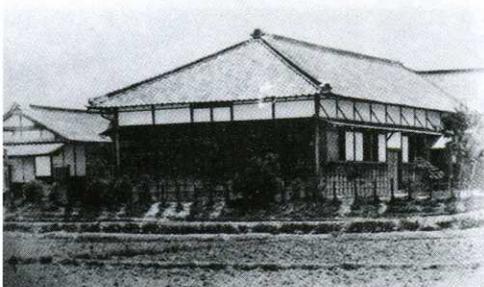
尋常小学読本
(明治 37 年)



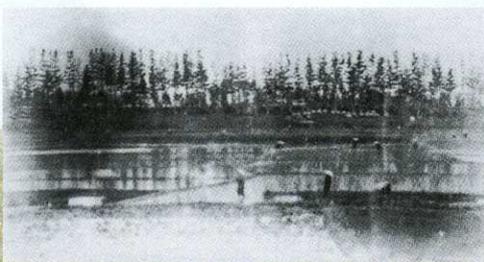
夏休み復習帳
今の「夏の生活」
(明治 40 年)



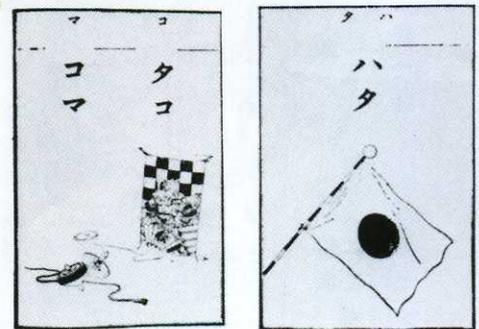
大道旧校舎前で (明治 30 年)



星崎校と村役場が統合された時、
本校にあてられた (明治 30 年)



天白川堤の松並木と水田 (明治 20 年)



尋常小学読本 (明治 43 年)

笠寺小学校
4年生卒業写真 (明治 41 年)

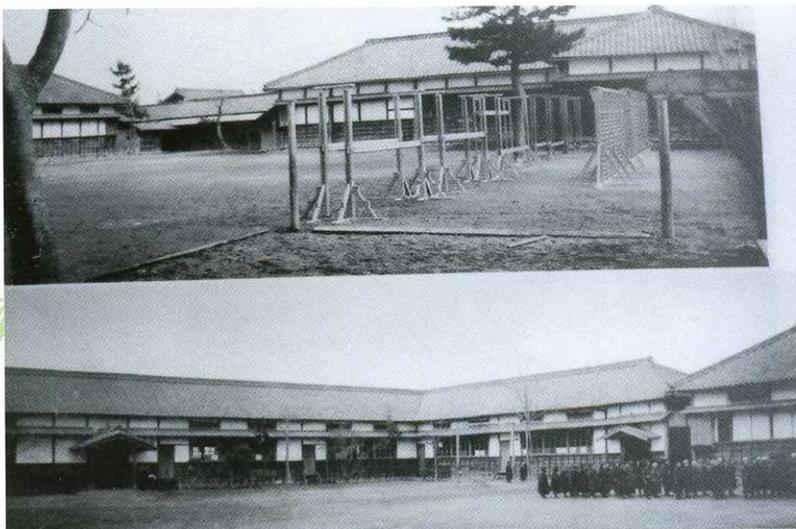


大正7年～昭和2年

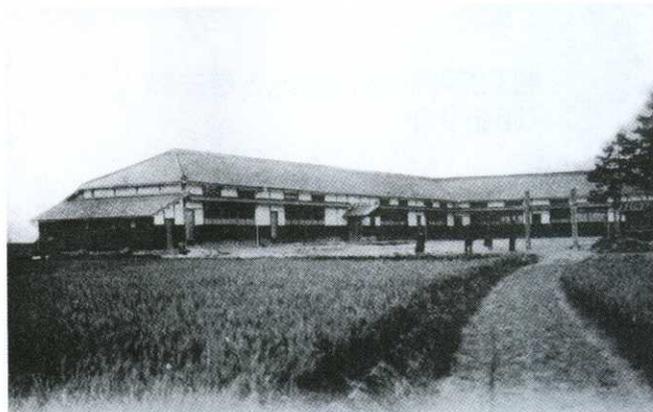
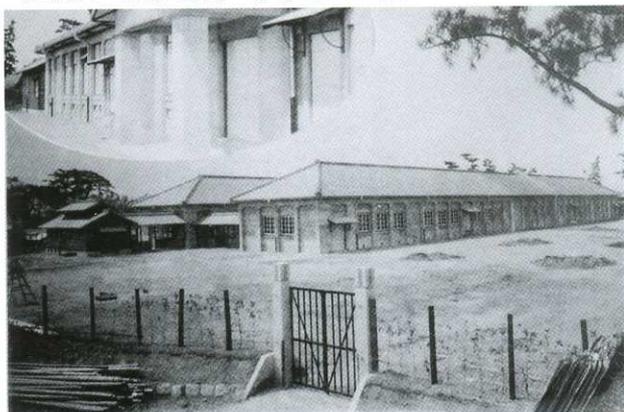
10周年以降～20周年

- 大正 10. 8.22 名古屋市編入「名古屋市立笠寺尋常高等小学校」と改称
- 12. 3 現在地（名古屋市南区本星崎町本城 765 番地）に建設工事着工
- 12. 8 一部児童新校舎に移動
- 13. 4. 1 鳴尾町柴田に鳴尾分教場を設置
- 15. 7. 1 名古屋市笠寺青年訓練所開設

大道にあった校舎
(大正 11 年)



建築中の新校舎 (大正 13 年)



大道当時の校舎

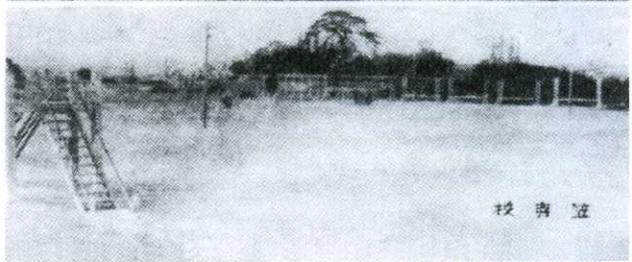
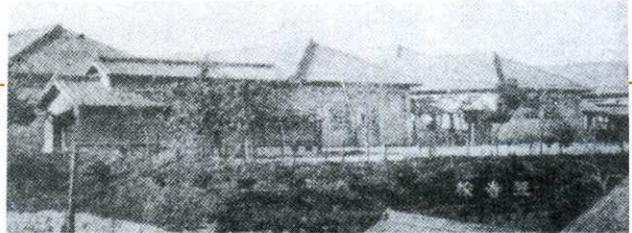
大正時代の服装 (大正 13 年)



昭和3年～12年

20周年以降～30周年

- 昭和 3. 3.11 新校舎竣工 普通教室（24）,特別教室（4）,職員室等
- 4. 8.19 奉安殿竣工
- 7. 1.16 職員室より出火 職員室・宿直室全焼,応接室半焼
- 10.10. 1 青年学校開設
- 11. 1 普通教室（6）増築
- 11. 5. 5 講堂竣工（小菅剣之助氏寄付）



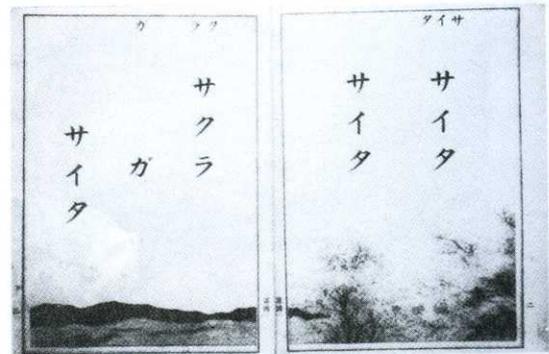
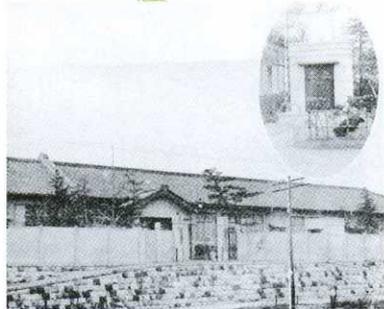
校舎と運動場

校舎と運動場（昭和3年）

洋服すがたもめだつ（昭和6年）



昭和初期の正門付近と奉安殿
（昭和9年）



小学国語読本（昭和8年）

鋤形まつり（昭和10年）



昭和13年～22年

30周年以降～40周年

国民学校（昭和17年）



天白川原練成農場のいもほり
(昭和16年)

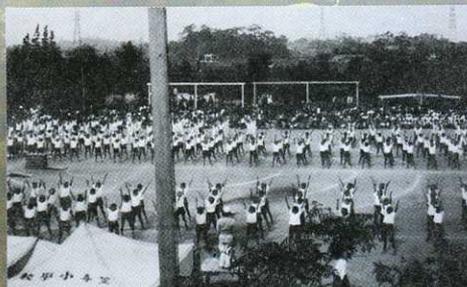


集団疎開 北設楽郡本郷町
(昭和19年)

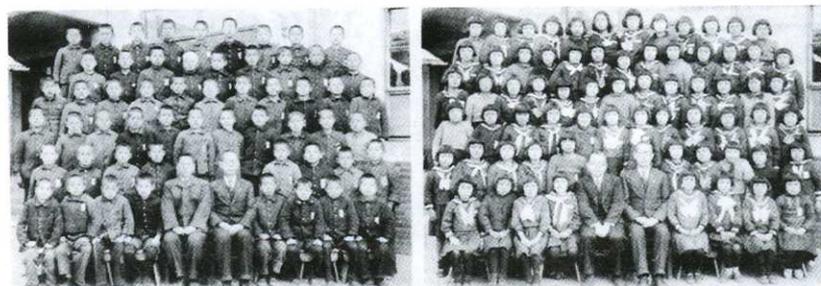


戦中の校舎（昭和17年）

運動会（昭和18年）



- 昭和 13. 7. 4 鳴尾分教場が白水小学校として独立
- 15.12.17 立松教育会長顕徳碑除幕式挙行
- 16. 4. 1 「名古屋市笠寺国民学校」と改称
- 16.12. 8 太平洋戦争（第2次世界大戦）開戦
- 17. 4. 1 軍人援護教育研究指定校
- 17. 7.25 県農会長より食糧増産について表彰
- 18. 4. 1 笠寺男子青年学校廃止／名古屋市武道研究指定校
- 19. 4. 1 又兵衛分教場設置／給食開始
- 19. 8.11 北設楽郡本郷町へ集団疎開
- 19. 9 高等科児童勤労学徒として各工場に動員
- 20. 4. 1 初等科を閉鎖
- 20. 5. 1 初等科の閉鎖を解除して、残留児童のための分教場を開設
- 20. 5.17 空襲を受け、講堂・普通教室（3）・医務室・便所（2）・物置（2）を残して焼失
- 20. 8.15 終戦／高等科児童工場動員解除
- 20.10.18 初等科集団疎開児童帰名／授業再開
- 22. 教育基本法公布／6・3制実施義務教育9年に延長
- 22. 3.15 平屋建て校舎三棟・職員室・物置・給食所・便所等竣工
- 22. 4 放出物資による給食開始
- 22. 4. 1 「名古屋市立笠寺小学校」と改称
名古屋市立本城中学校新設（本校に併設）



国民学校時代の服装（昭和17年）



大道公会堂
戦争末期に教室として使用
(昭和19年)

青空教室



昭和23年～32年

40周年以降～50周年

- 昭和 23. 4. 1 又兵衛分教場、大生小学校として独立
- 24. 7. 15 二階建て校舎・普通教室（7）増築竣工
- 24.10.31 本城中学校校舎竣工移転
- 27. 8. 15 運動場改装竣工
- 28. 3. 31 校地北側の擁壁竣工
- 28. 7. 13 普通教室（4）増築竣工
- 28.10.25 スタンド式運動場完成
- 28.12. 5 普通教室（4）増築と職員室・応接室の改築、運動場の改装が竣工

改築中の校舎（昭和32年）



五棟の校舎（昭和30年）

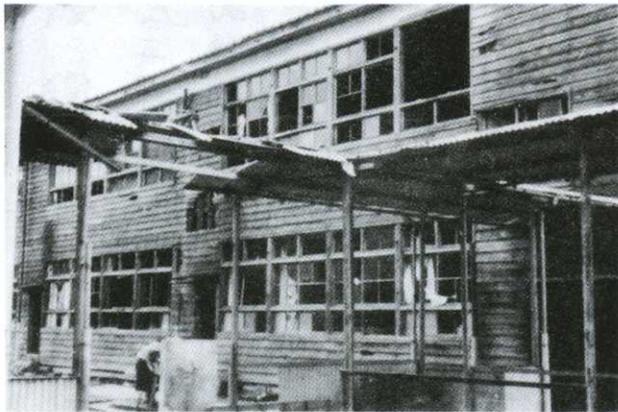
いもほり（昭和25年）



昭和33年～42年

50周年以降～60周年

- 昭和 33. 6.21 普通教室（6）増築と職員室・宿直室・衛生室等の改築が竣工
- 34. 2.18 50周年記念式典・記念展覧会を実施
- 34. 3.31 普通教室（3）改築が竣工
- 34. 9.26 伊勢湾台風襲来 被害甚大
- 35. 7.28 普通教室（4）改築が竣工
- 34. 8.31 給食所・渡り廊下竣工
- 37. 3.12 普通教室（2）・中央渡り廊下竣工
- 39.10.28 分校起工式
- 40. 5. 1 星崎に分校開校
- 41. 2.22 分校の普通教室（2）増築竣工
- 41. 4.22 分校の運動場整地・門・塀が竣工
- 41. 7.23 本校のプールの改修と機械室等附設設備が完成
- 41. 8.16 分校のプールが竣工
- 41.11.14 分校の普通教室（2）増築竣工
- 42. 3.31 本校の便所一棟と浄化槽等附設設備が完成
- 42. 4. 1 分校が、星崎小学校として独立



伊勢湾台風で被害を受けた校舎（昭和34年9月）



マラソン10連勝（昭和37年）

50周年記念展覧会（昭和34年）



昭和43年～52年

60周年以降～70周年

- 昭和 44. 3.25 鉄筋校舎の増築工事 普通教室（2）・理科室（1）・理科準備室（1）・便所等竣工
- 44. 4. 1 愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会より交通安全教育研究指定校の委嘱
- 46. 2.20 全日本交通安全協会より「交通安全教育研究」の実践に対して受賞
- 46. 3.25 鉄筋校舎 普通教室（4）の増築と仮渡り廊下の新設
- 49. 4. 1 芝町に分校開校
- 49. 7.18 分校のプール竣工
- 49. 7.30 分校の北校舎三階を増築
- 49.11.22 名古屋市少年サッカー大会で優勝
- 50.12. 5 分校の体育館竣工
- 51. 4. 1 分校が、笠東小学校として独立
- 51.11. 1 70年を記念して、「笠寺アルプス」等の整備
- 52. 3.10 校地西側の石堤工事が竣工

交通安全教育（昭和45年）



給食の時間（昭和51年）

70周年記念運動会（昭和51年）



組体操



昭和53年～62年

70周年以降～80周年

- 昭和 53. 1.29 C B C ども音楽コンクール中部日本大会で最優秀賞を受賞
- 53.10. 6 木造校舎第一棟，第二棟東側 10 教室取り壊し
- 53.11.25 C B C ども音楽コンクール名古屋大会で最優秀賞を受賞
- 54. 3.31 鉄筋コンクリート造り三階建て校舎・ポンプ室・放送室等を竣工
- 54. 6.13 F B C 春花壇コンクールで国務大臣・国土庁長官賞を受賞
F B C 春花壇コンクールで大賞を受賞
- 54. 9.17 木造校舎第一棟，第二棟西側 4 教室取り壊し
- 55. 3.31 鉄筋コンクリート造り三階建て校舎竣工，校地西法面擁壁・石堤造成，西通用門改造
- 55. 8.20 旧講堂取り壊し
- 56. 3.31 体育館竣工
- 57. 6.15 プール付属施設完成
- 57. 9.15 NHK 合唱コンクール名古屋地区最優秀賞
- 57. 9.25 正門改築，校地西側南石積み改修
- 59. 2.29 昭和 58 年度大気汚染防止工事完了
- 59. 4. 1 障害児学級「まつかぜ学級」開設
- 60. 3.31 最後の木造校舎取り壊し／昭和 59 年度大気汚染防止工事完了
- 60. 4. 木造体育倉庫取り壊し／体育倉庫新設
- 61. 4. 1 学校無人化
- 61.10.20 子ども貯金の活動に対して郵政大臣賞を受賞
- 62. 3.31 昭和 62 年度運動場改修工事（一期）完了
南側拡幅にともない，屋外便所の取り壊し／屋外便所の新設，スタンド竣工，運動場南半分改修
- 62. 7.19 金管合奏部，名古屋市総合体育館竣工式オープニング演奏に出演
- 62. 8.13 昭和 62 年度運動場改修工事（二期）完了
北側・西側法面にジョギングコース・野外ステージ・クラブハウス・西中央階段新設，西通用門改修，花壇移設
- 62.11.18 創立 111 年，開校 80 年，運動場改修工事完了記念「笠寺造形フェスティバル」実施
- 62.12.10 創立 111 年，開校 80 年記念「校訓碑」設立，「星崎城址 愛知県」「同 名古屋市教育委員会」移設
ジャングルジム新設，砂場増設



航空写真（昭和 57 年）



本星崎



80周年校舎（昭和62年）



昭和63年～平成9年
80周年以降～90周年

- 昭和 63. 2.28 運動場改修工事にともなう植栽事業完成（ケヤキ 14 本ほか、低木約 6000 本）
63. 7.31 南東端石垣改修
63. 8.30 防球ネット新設
平成 1. 7.14 西門防球ネット新設
2. 3.31 東渡り廊下新設
3. 3.30 プール東法面補修（台風 19 号による地すべり）、フェンス改修（プール横、ジョギングコース）
3.12. 4 ウサギ小屋ふれあい広場に拡張更新
4. 3. 1 47 年ぶりに笠寺国民学校の卒業証書授与式（昭和 19 年に空襲のために卒業式ができなかった方のため）サン笠寺にて
4. 3.31 コンピュータ室新設、プール東法面補修（台風による地すべり）、ステージ西 農園新設
5.11.17 体育館どん帳新設
5. 4.19 ジョギングコース復旧工事（大雨による地すべり）
6. 9.22 運動場改修工事開始
7. 7.21 屋外非常階段改修工事
8. 1. 8 2 階児童便所改修工事
8. 8. 1 北校舎 1 階廊下床面改修工事

遠足（平成 5 年）



野球部優勝（平成 2 年）



試食会（平成 5 年）



星崎城址（平成 7 年）

学芸会（平成 6 年）



送る会（平成 5 年）



卒業式（平成 8 年）

平成10年～19年

90周年以降～100周年

- 平成 12. 6. 1 トワイライトスクール開校
- 13. 6 校内 LAN 配線工事 (職員室)
- 14. 2.12 コンピュータ入れ換え (PC室 21 台, 職員室 1 台)
- 14. 4～ 学校週 5 日制完全実施
- 15. 2 運動場スピーカー改修
- 16. 4. 1 インターフォン工事
- 16. 7～ 体育館耐震補強工事
- 17. 3 防犯カメラ設置 (東・西通門)
- 17. 7～ 南校舎耐震補強工事
- 18. 7 北校舎耐震補強工事, 防犯カメラ 4 基増設
保健室南スロープ工事
- 19. 4. 1 校歌碑除幕式
- 19.11.10 開校 100 周年記念行事
- 19.11.11 開校 100 周年記念式典

校歌碑除幕式 (平成 19 年)



感謝の会
(平成 11 年)



敬老給食会 (平成 12 年)



送る会 (平成 11 年)



修学旅行 (平成 15 年)



中津川野外学習 (平成 15 年)

授業風景



行事のようす

入学式



対面式



児童会行事



交通訓練



運動会



卒業式



学習発表会



6年生を送る会



委員会活動

園芸



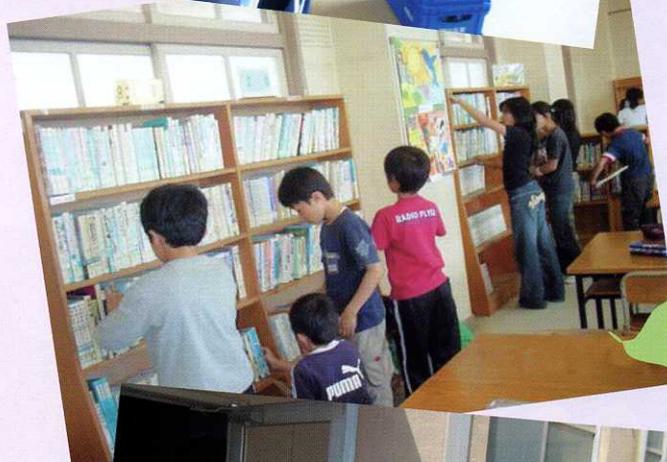
給食



飼育



図書



体育



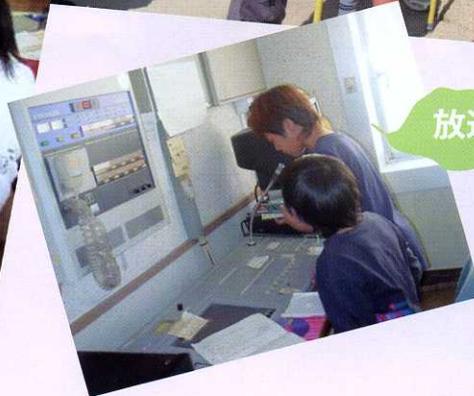
美化



保健



放送



クラブ活動

図工



手芸



将棋・オセロ



バドミントン



ボールゲーム



パソコン



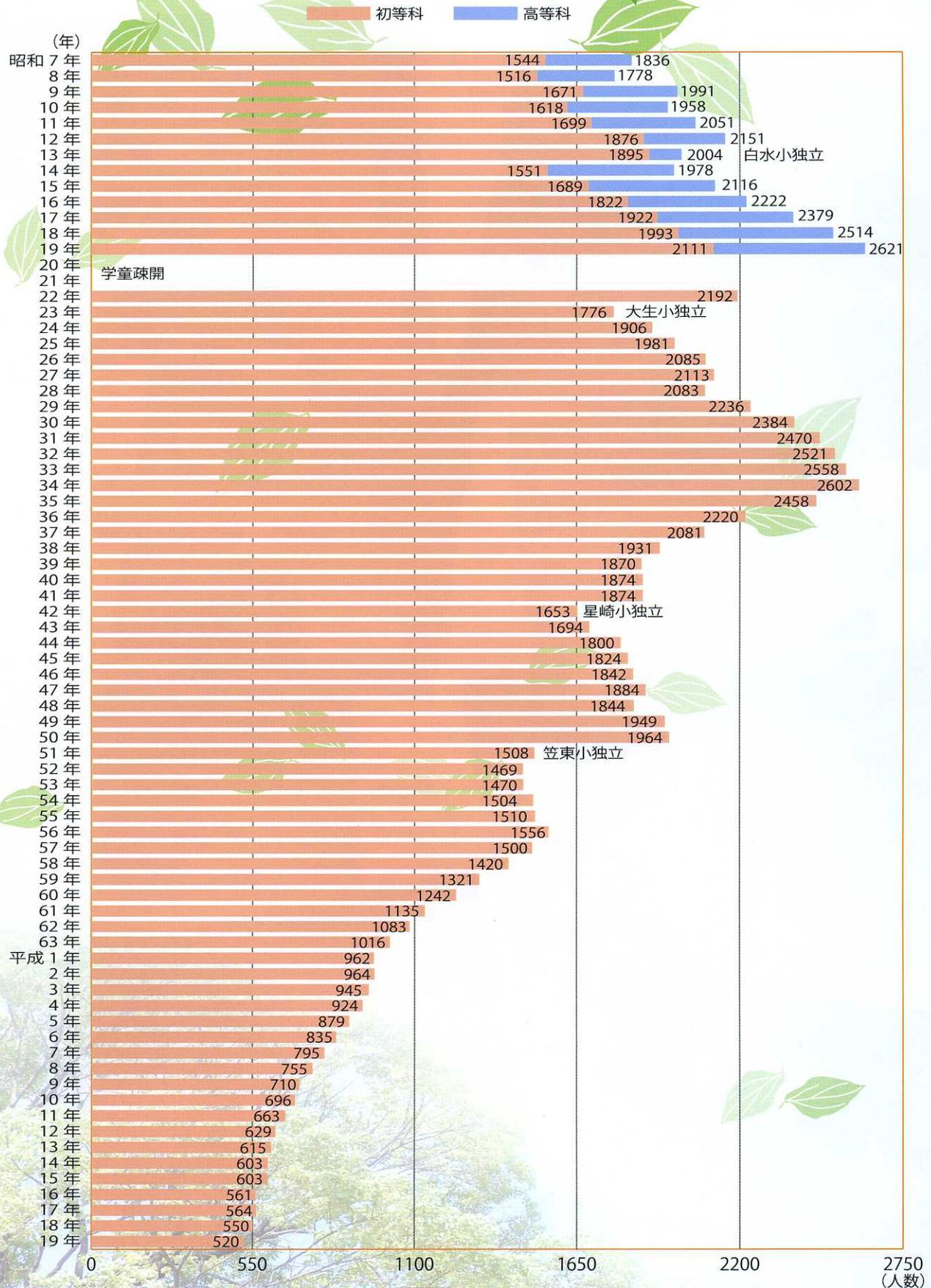
一輪車



絵・イラスト



児童数の推移



歴代校長名簿

	在 職 期 間		氏 名
初 代	明治41年1月 1 日～	42年 5月26日	鈴 木 三 蔵
第 2 代	明治42年5月26日～	44年10月10日	高 柳 秀 雅
第 3 代	明治45年7月22日～	昭和 5 年 4月25日	鈴 木 治 郎
第 4 代	昭和 5 年4月25日～	8 年 7月22日	本 田 甚三郎
第 5 代	昭和 8 年7月22日～	13年 7月 4日	横 井 學 之
第 6 代	昭和13年7月 4 日～	18年 9月14日	阿知和 宗 平
第 7 代	昭和18年9月14日～	21年 3月31日	長谷川 仙 吉
第 8 代	昭和21年3月31日～	22年 3月31日	水 野 賢 勳
第 9 代	昭和22年4月 1 日～	23年 4月30日	萩 原 孝 一
第10代	昭和23年4月30日～	26年 4月 1日	豊 田 兵 吾
第11代	昭和26年4月 1 日～	29年 5月21日	高 橋 竹 市
第12代	昭和29年5月21日～	38年 5月31日	青 山 雄三郎
第13代	昭和38年6月 1 日～	44年 5月31日	佐 治 元 道
第14代	昭和44年6月 1 日～	49年 3月31日	藤 崎 文 夫
第15代	昭和49年4月 1 日～	54年 3月31日	神 戸 文 雄
第16代	昭和54年4月 1 日～	56年 3月31日	寺 沢 圭 圓
第17代	昭和56年4月 1 日～	59年 3月31日	山 口 學
第18代	昭和59年4月 1 日～	61年 3月31日	水 野 清 一
第19代	昭和61年4月 1 日～	平成 2 年 3月31日	小野田 裕 康
第20代	平成 2 年4月 1 日～	6 年 3月31日	藤 智 雄
第21代	平成 6 年4月 1 日～	9 年 3月31日	武 内 滋
第22代	平成 9 年4月 1 日～	11年 3月31日	神 谷 昌 幸
第23代	平成11年4月 1 日～	14年 3月31日	宇佐見 彰 孝
第24代	平成14年4月 1 日～	17年 3月31日	渡 邊 佑
第25代	平成17年4月 1 日～		伊 藤 悦 朗

歴代PTA会長名簿

	在 職 期 間		氏 名
初 代	昭和22年4月～	23年3月	大 橋 末 吉
第 2 代	昭和23年4月～	26年3月	蟹 江 邦三郎
第 3 代	昭和26年4月～	28年3月	三 浦 光 春
第 4 代	昭和28年4月～	30年3月	石 山 治三郎
第 5 代	昭和30年4月～	32年3月	岡 本 千代松
第 6 代	昭和32年4月～	34年3月	浅 井 金 一
第 7 代	昭和34年4月～	36年3月	二 村 四 郎
第 8 代	昭和36年4月～	41年3月	山 田 端 正
第 9 代	昭和41年4月～	44年3月	広 瀬 幸 作
第10代	昭和44年4月～	47年3月	福 井 武羅男
第11代	昭和47年4月～	49年3月	浅 井 鎮 夫
第12代	昭和49年4月～	55年3月	大 橋 禎
第13代	昭和55年4月～	60年3月	樋 田 輝 雄
第14代	昭和60年4月～	62年3月	濱 島 昭 宣
第15代	昭和62年4月～平成1年3月		石 川 清 之
第16代	平成 1 年4月～	4年3月	眞 月 教 俊
第17代	平成 4 年4月～	6年3月	廣 瀬 敏 郎
第18代	平成 6 年4月～	8年3月	稲 熊 弘 敬
第19代	平成 8 年4月～	10年3月	水 野 恒 平
第20代	平成10年4月～	11年3月	神 保 清 孝
第21代	平成11年4月～	13年3月	稲 熊 裕 之
第22代	平成13年4月～	14年3月	荒 川 雅 義
第23代	平成14年4月～	15年3月	近 藤 浩
第24代	平成15年4月～	16年3月	佐 野 慎
第25代	平成16年4月～	17年3月	加 藤 律 男
第26代	平成17年4月～		中 村 元 則

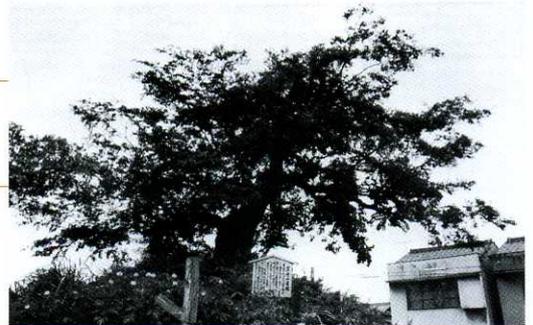
大昔の笠寺学区

時代	学区の主なできごと
縄文	粕畑貝塚
弥生	下新町遺跡 市場遺跡
大和	本城町遺跡（集団墓地のあと） 神輿塚、徳願塚などの小古墳 本城町低地遺跡
奈良	尾張の国が八つの郡に分けられ （その一つが愛智郡）愛智郡に十郷あり、 千竈郷の中に笠寺など七つの村がふくまれる 小松寺（笠寺観音）ができる
平安	玉照姫が観音様の本堂を今の地に建てる（笠覆寺） 星崎荘ができる
鎌倉	僧阿願が笠覆寺を再興（1235～1255） 笠寺城・市場城などができる
室町	桶狭間の合戦（1560） 星崎城・阿原堤できる。
安土桃山	笠寺台地の西の方で塩をつくる
江戸	東海道に松が植えられ一里塚がつくられる 笠寺台地の西の方がうめられ新田が開かれる 俳句がさかんになり句碑が建てられる 天白川はんらん 天白川大改修（1780）

笠寺観音



笠寺一里塚



大むかしの名古屋



明治・大正の笠寺学区

時代	学区の主なできごと
明治	名古屋県、後愛知県となる（1872）愛知郡にふくまれる
	武豊より清洲まで汽車が走るようになる（1885）
	東海道本線が開通する（1886）
大正	笠寺村、星崎村と鳴尾村が合併して笠寺村となる（1906）
	愛電（後の名鉄）神宮前一本笠寺間が開通する（1917） 笠寺村が名古屋市南区に入る（1921）

南区の歴史を語る古跡(○印)
明治初年当時の図による案内図



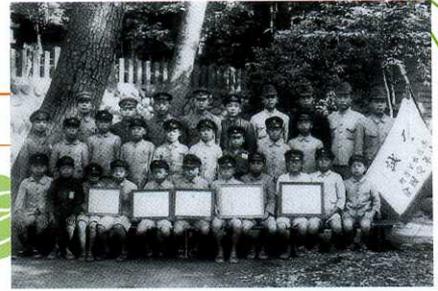
南区の歴史を語る古跡(明治初年当時の図による案内図)

明治24年ごろの村のようす



昭和の笠寺学区

年 (西暦)	学区の主なできごと
昭和 4 (1929)	笠寺郵便局ができる
昭和 6 (1931)	市バス (鶴舞公園-笠寺) が開通する
昭和初期	学区西部の区画整理が始まる
昭和 9 (1934)	学区南部の区画整理が始まる
昭和 14 ~ 15 (1939~40)	新道 (国道一号線) ができ、本星崎まで市バスがくる
昭和 16 (1941)	笠寺警察署ができる
昭和 18 (1943)	国鉄笠寺駅が仕事を始める
昭和 19 (1944)	市電が笠寺西門から大江の方へのび前浜通を走るようになる 国道一号線に新大慶橋ができる
昭和 22 (1947)	南区全体航空写真
昭和 33 (1958)	笠寺電報電話局ができる
昭和 34 (1959)	伊勢湾台風により風水害を受ける
昭和 39 (1964)	新幹線が開通する
昭和 49 (1974)	市電 (笠寺-大江) が廃止になる



少年愛国会 (昭和 13 年)



笠寺観音と傷痍軍人

名古屋まつり花バス (昭和 45~46 年)



名古屋まつり花バス (昭和 58 年)

当時の市電 (昭和 49 年頃)



牛毛神社

市バス丹八山停 (昭和 59 年)



平成の笠寺学区

年(西暦)	学区の主なできごと
平成 元(1989)	南区区制 80 周年
平成 4 (1992)	総合体育館レインボープール 弓道場 開館 レインボーアイスアリーナ オープン
平成 12(2000)	南区役所新庁舎完成
平成 17(2005)	鍬形祭 63 年ぶり復活



国道一号線を行く山車



鍬形まつりの練習
棒の手 (平成 19 年)



鍬形まつりの練習
ほら貝 (平成 19 年)

区役所前の山車



山車 (平成 15 年)

鍬形まつり本番の様子 (平成 19 年)



現在の笠寺学区の様子



昭和 52 年の学区の様子



笠寺学区の名所

JR 笠寺駅



名鉄本笠寺駅

笠寺観音



南郵便局



笠寺一里塚



南区役所



七所神社



丹八山



星宮社



1号線



名鉄本星崎駅



編集後記

笠寺小学校開校100周年記念誌 編集委員

笠寺小学校開校100周年記念事業の一つとして本記念誌を発刊することになりました。

編集するにあたって、昭和34年発刊の「昔と今のかさでら」や70周年を迎えた際に発刊された「わたしたちの郷土かさでら」等の記念誌を始めとして、過去のPTA新聞や記録写真などを参考とさせていただきました。しかし、昭和20年5月の空襲の折に、笠寺小学校も大部分が焼失し、戦前の貴重な資料が灰燼に帰したことがいかにも大きく、苦慮いたしました。幸いにも、笠寺学区公民会長の浅見吉郎様を始めとする多くの方々から貴重な資料をお借りすることができ、なんとか過去を振り返ることができました。

このたび取り扱った貴重な資料の中には、撮影時期が特定できず、やむなく掲載できなかったものもありますが、前後関係で時期を推定し、あえて掲載したものなどもあります。多くのメンバーで校正いたしました。事実の誤認、資料の記載ミス等がないかと心配しております。

本記念誌の発刊が、笠寺小学校のさらなる発展の一步となることを願ってやみません。

発刊にあたり、ご寄稿いただいた方々、編集にあたり様々な情報をお寄せいただいた方々、さらには資料編集のためにご協力くださった方々に深く感謝いたします。今後とも笠寺小学校のさらなる発展のため、ご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

名古屋市立笠寺小学校 開校100周年記念誌

平成19年11月発刊

編集・発刊：名古屋市立笠寺小学校

代表者 伊藤悦朗

〒457-0056

名古屋市南区本星崎町本城 765

TEL 052-821-5188

FAX 052-821-1751

印刷：株式会社 丸和印刷

